



自治労日高町職員組合協賛 ホッカイドウ競馬特別レース 9/14(火)実施が決定!!

ホッカイドウ競馬は今年が本当の正念場!! 日高を支える
軽種馬産業と北海道遺産である馬文化を守るために
みなさんのご協力をお願いします!!

日高町職では、地域のために運動の一環として何をすべきかの議論の結果、本年度開催の結果で存廃が決定されるホッカイドウ競馬をどうにか盛り上げようという観点のもと、職員組合として協賛レースを持つこととなりました。

9月14日(火) 門別競馬場 第8レース

発走予定時刻 … 19:05

レース名 「ふるさと日高応援特別」

発走時刻は変更となる可能性があります(当日の新聞・HP等でご確認ください)

ホッカイドウ競馬のこれまでと廃止の影響

1948年にスタートしたホッカイドウ競馬は折からの競馬ブームにも乗り、1991年までに総額290億円もの利益を道の一般会計に繰り入れてきました。

しかし、バブル破綻後の1992年からは赤字に転じ、2009年度までの累積赤字が242億円にまで達し、2008年度からの3ヵ年による見通しでホッカイドウ競馬の存続を判断することとされ、本年度がその最終年次とされています。

もしホッカイドウ競馬が廃止されれば、そこに働く調教師・厩務員・騎手(プラス家族)は働く場を失うことになり、ホッカイドウ競馬廃止が他の地方競馬の存廃につながる可能性を考えると、日高管内総体の生産・育成に関わる牧場や従業員へ与える影響は甚大であり、人口の流出や消費の低減に直結することとなります。ちなみに、もし廃止されれば、現在約1万4千人である日高町の人口は、数年後に1万人を割る可能性が指摘されているところです。

現在、主催者である道や軽種馬振興公社とともに、管内各町において官民挙げた取り組みが展開されていますが、現在のところ対前年を上回る売り上げがあるものの、当初計画まで「もう少し」という状況で、重賞レースが続くここからの2ヶ月が本当の正念場です。

産業、経済、文化、そして日高地域全体を守っていくためにも、自治労の仲間のみなさんのご協力をぜひお願いします!!

場外等はホッカイドウ競馬HPで!! <http://www.hokkaidokeiba.net/>